

国民 民主党 **こくみん**

11月20日

P.2 令和6年9月定例会

◎改めて明らかにした、北九州市が「財政危機でない」事実

◎「ミュージアムツアー」などの再開を求める意見書が可決!!

◎子ども基本条例、12月議会でも可決へ!!

P.3 稼げるまちより、「優しさがあふれるまち」へ

P.4 粘り強く！積み重ねてきた数々の取り組み



北九州市議会議員 **大久保むが** 八幡西区

北九州市議会議員 市政レポート **大久保むが** かわら版 **DX** デラックス

第六十号

対決より解決! つくろう、新しい答え。



国民民主党 玉木雄一郎 代表



折尾駅前4丁目交差点の歩車分離を求め、市議会本会議で提案!!? 交差点の安全対策がさらに前進!!

折尾駅前4丁目交差点の歩車分離を求め、市議会本会議で提案!!?

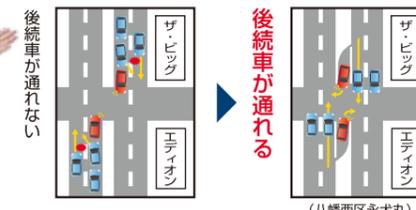
大久保むが事務所 北九州市八幡西区則松一丁一六六 TEL:093-980-6806 FAX:093-980-6807 https://www.mugamuga.net E-mail:yahatanishi@mugamuga.net



大久保むがの実績



- 仕事や技術の魅力を次世代に伝える「技能グランプリ全国大会」の誘致実現!
- 築地町の環境改善で巨大防塵ネット設置!
- 交通量の多い永犬丸ダイレックス前の信号設置が実現!
- 八幡南郵便局前などの右折ポケットの提案が実現!



- 市役所内に障がい者ワークステーションの提案が実現!
- 筒井町交差点の改良提案が実現! 渋滞が大きく緩和!
- 黒崎ゴールド免許センターの誘致に成功!
- 初当選以来訴えてきた政務活動費の1円からの全面公開が実現!
- 行政評価の導入。
- メンテナンス費用の安いコンクリート道路を提案!
- 空き家対策を求め、H28に対策計画が策定される。
- 北九州市科学館のプラネタリウム事業者選定での不審点を議会で徹底追求!
- 環境建設委員長時代、ゴミステーションのクラス対策を徹底審議。市による大規模なゴミステーションの調査が行われる。
- 市議会で初めての委員会の定例開催を行う。
- 老朽化の著しかった九州女子大学前のバス停の改善を指摘。九州女子大学の学生と市が共同で取り組み、デザインが一新される。



- やさしい日本語について提案。様々な場面で採用される。
- 公立中学校のスタンダード学生服で費用が高騰しないよう議会で徹底議論。
- 中国政府による新疆ウイグル自治区、チベット、内モンゴル自治区等への人権侵害を非難することを求める意見書を提出。全会一致で可決される。
- 全国一律最低賃金制度の段階的な実施を求める意見書を提案。賛成多数で可決される。
- 市の人事案件や予算情報の漏洩について議会で徹底追求!
- 新々堀川橋の安全対策の通行区分を明確化。
- 瀬板の森の老朽化を指摘。2027年の開園30年に向けてリニューアルを提案。
- 小倉駅前に大手IT企業の誘致に成功!
- 強制から任意加入のPTAを実現!

キタQに **総我夢中!!**

地道に諦めずの巻

引き受けた課題に諦めることなく取り組んでー

成果を出せたことがたくさんあります

要望や陳情は毎日たくさんあります

動画の情報発信は5年やっています

時間がかかっても諦めることなく地道に皆さんの声に寄り添ってまいります

北九州市議会議員 大久保むがプロフィール

昭和63年枝光小学校卒業。平成3年枝光北中学校卒業。平成6年福岡県立北筑高等学校卒業。平成10年九州国際大学国際商学部卒業後、平成12年から元衆議院議員・北橋健治氏の秘書に。その後、さらなる政治の勉強をするため、平成18年北九州市立大学・法学研究科に入学、政策科学を学ぶ。勉学のかわり、参議院議員・大久保勉氏の秘書を平成19年まで務める。平成20年3月、北九州市立大学・法学研究科を卒業。同時にヘルパー2級取得。平成21年北九州市議会議員に初当選、総務財政委員会に所属。2期目前半に環境建設委員長に就任。3期目の前半に教育文化委員会。現在は建設建築委員会の委員長。NPO法人「KID's Work」スタッフ。令和6年 国民民主党に入党。防災士。北九州キャンプ協会会長。保護司。

大久保むが事務所 住所:〒807-0831 北九州市八幡西区則松2-6-6 電話:093-980-6806 FAX:093-980-6807 ホームページ:https://www.mugamuga.net/ Eメール:yahatanishi@mugamuga.net



令和6年 9月定例会

令和5年度決算議会

令和6年9月定例会(9月6日) 10月6日が開催されました。9月定例会は令和5年度の決算を行う議会であり、歳入決算は6,070億1300万円となり、過去3番目の規模となっています。

改めて明らかになった、本市が「財政危機でない」事実

今議会は市内市政となり最初の本格的な予算編成に対する決算の議会となりました。

本市が財政危機である、という立場に立てば、予算事業の棚卸で見直しをしていくことは理解もできますし、明らかに無駄は当然削減されるべきと考えます。しかし、財政危機でもない中、財政危機を煽り、予算削減をパフォーマンスのために使われ、本来なくさなくてもいいはずの予算が削られ、市民サービスが不当に削られてしまっています。

私はかねてより本市は財政危機ではない、ということをご「かわら版」でもご説明してきました。財政危機による「変革」なる意味不明な取り組みに対し、財政危機を前提にした事業の見直し、財政危機についての認識が間違っているということをお話してきました。

市税収入は新型「コロナ禍の影響を脱し、過去最高に」

増加を続けていた市税収入は新型「コロナ禍で一時期落ち込みましたが、その後

注目 子ども基本条例 12月議会にて制定へ!

北九州市議会では子ども基本条例の制定に向けて取り組みを続けてきました。

自民党無所属の会、公明党、ハートフル北九州、共産党の市議会主要会派でプロジェクトチームを立ち上げ、維新の会や自民未来、無所属の方達も加わり、この2年間様々な団体から意見を伺い、研究、検討を続けてきました。

そしてついに子ども基本条例の素案が完成し、12月議会に上程へ向けてパブリックコメントを行いました。

議会側が素案から作り上げた条例は「北九州市子どもを虐待から守る条例」以来6年ぶりとなります。

引き続き提案型の議会としてもその役割をはたして参ります。



緩やかな景気回復の影響を受け2年連続で増加となりました。税収が過去最高を更新し続けているにも関わらず、北橋市政下で平成19年、20年の本当の財政危機を乗り越え、市債残高を減少させ続けている本市が財政危機というものは、どういふことを言っているのでしょうか。



いっぽう令和6年度の市債発行額は過去9年間で最高に

令和5年度の市債発行は対前年比では微増となっています。例年、臨時財政対策債を除いた市債の発行額は、300億円台、少ない時は200億円台でした。令和6年度の市債は、港湾整備特別会計の借り換えのための市債発行が増大した平成27年を除けば、過去最大の485億円となっています。財政の市債依存度を高めています。

「稼げるまち」より「優しいまち」へ! 市民みんなが誇りあげてきた、人に優しく元気なまちを取り戻そう!

若者世代

この街にずっと住みたいと思えるワクワクするまちづくり!

- 奨学金の返済支援制度の拡充!
- ネット投票実現を目指し、若者の声をもっと政治の現場に!
- 不要な行革により削減された、美術鑑賞ミュージアムツアーなどの文化芸術事業の再開を求めます!

子育て世代

子育てに不安のない、むしろワクワクできるまちづくり

- 食育は教育! 給食費の無償化へ取り組みます!
- 子ども基本条例を制定させ、もっと子育てしやすい街へ!
- 市内に体験から学びを得ることが出来る常設型「プレーパーク」を!

氷河期世代

もっとも苦しんだ世代に対し、徹底的に支援を!

- 国の予算や制度に頼らない本市独自の支援策を!
- 正社員採用後の資格取得支援制度の創設を!

シニア世代

優しさでワクワクを感じるまちづくり!

- 先端技術で高齢者見守りサポートを!
- 認知症の当事者同士による支援活動「ピアサポーター」制度の導入を!
- 安心して街にでて歩くことができる歩車分離信号をもっと展開!
- 市営住宅の介護事業者用駐車場の設置

持続可能なまちづくり

- 自転車道の拡充で、もっと安全に通学!
- 人口減少で大量発生する空き家の予防対策!
- コンクリート道路の展開で道路維持管理費を低減し、財政負担の減少を!
- 犯罪被害者支援条例の制定を目指します!

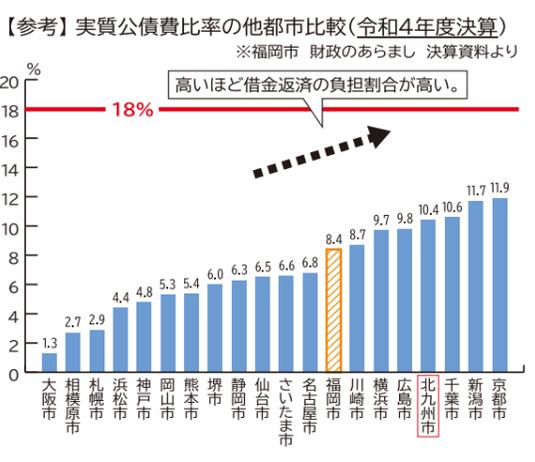
政治は誰がやっても一絡? そんなわけない。日々少しずつでも改善を積み重ねれば、1年後は、10年後はもっとと良くなる。でもそんな政治の力を、自らの私腹を肥やすために使っている。政治はもう終わりにしなければならぬ。政治は市民の声を届けるため。議会が市民の声を届けるため。政治は日々額に汗して職場で家庭で頑張るあなたのためにある。そうあらねばならないと私は信じている。



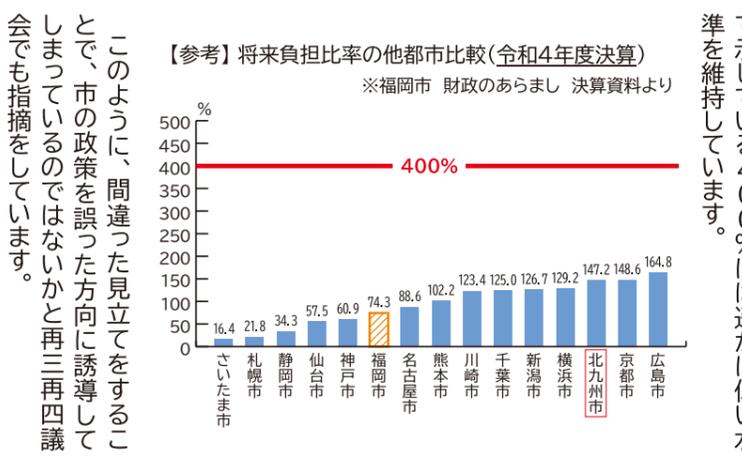
何を比べるかによって見え方は全然違う

健康な人を比べたらコレステロールが高い人低い人、血圧が高い人低い人がいるのは当然で、それら健康な人を並べてもっとも悪い、と言っているのは意図的に印象操作を行うに等しく、だから手術が必要とするのは完全に見立てを誤っているといえます。

福岡市の令和5年度の決算の書類が分かりやすく示されていますので、これを用いてみます。国が財政健全化の指標として使っている実質公債費比率の政令市比較では、財政的に危険である赤線を超えている政令市は一つもありませんし、むしろ北九州市はその基準を大幅に下回っていることが分かります。



3番目にありますが、国が危険水域として示している400%には遥かに低い水準を維持しています。



ミュージアムツアーなどの再開を求める決議を提出し、可決される

市内の小学校3年生が北九州市立美術館で本物の美術作品にふれることができ「ミュージアムツアー」と、小学校6年生が戦時下の市民の暮らしを学ぶ「平和のまちスタディツアー」などが間違った財政危機を前提にして事業廃止になってしまいました。財政危機という間違った前提において廃止されてしまったいくつかの事業について、3月の予算議会でも指摘をしましたが、私たちの会派より9月定例会